

大橋あきお

大阪府議会議員

通信

令和7年 秋号

発行：大橋章夫府政事務所
〒573-0027 枚方市大垣内町2-17-5 ダイショウビル301
TEL: 072-861-0117 / FAX: 072-861-0116

<https://ohashi-a.com/>



■都市住宅常任委員会で質問する大橋府議

大阪府議会9月定例会 都市住宅常任委員会より

YouTube



大橋あきおは、大阪府議会9月定例会都市住宅常任委員会において、府民の皆様からいただいたお声、ご相談をはじめ、大阪府の諸問題、地元枚方市・交野市のまちづくりについて質問しました。

JR学研都市線沿線のまちづくり

北河内地域はいにしへの京街道、現在の京阪本線沿線を中心に発展してきました。守口市、門真市、寝屋川市の沿線では密集市街地化している地域もあり、まちづくりの課題になっています。JR学研都市線沿線では、2010年の第二京阪道路の全線開通から、その立地ポテンシャルを活かし、商業・物流施設・住宅地などの開発が進んでいます。今後さらに新名神高速道路や淀川左岸線の完成により、学研都市線沿線が東西の交通の要衝となることはまちがいありません。星田駅のまちづくりは完成に近づいています。枚方市の茄子作地域のまちづくりも進んでいます。8月の大阪府都市計画審議会で、枚方市の長尾駅北地区・東地区、交野市の寺・向井田地区、寝屋川市の寝屋川公園地区が保留地区に指定され、市街化区域編入に向けてまちづくりを進めることになりました。大橋あきおは、北河内地域のまちづくりが大阪全体の発展にもつながることを訴え、大阪府の支援を要望しました。

大阪府は、「JR学研都市線沿線まちづくりビジョン」を策定し、地元と共有しながら意見交換を行っている。今後も沿線各市やJRと連携しながら、まちの価値や魅力を高め、住みたい、働きたい、訪れたいまちづくりが実現できるように取り組んでいくと答えました。

流域下水道の全国特別重点調査について

国土交通省が全国で行った流域下水道の重点調査は、埼玉県八潮市の大規模な道路陥没事故を受けて実施されました。その結果、全国で約300kmの腐食や破損が見つかり、陥没につながるリスクがあることがわかりました。大阪府においても103kmが優先実施箇所であり、そのうち約41kmで一部劣化が確認されました。大橋あきおは、埼玉県八潮市の映像が記憶に新しい府民にとって大きな不安になっていることを指摘し、調査結果とともに見つかった劣化箇所への対策をどう進めていくのか質問しました。

大阪府は、10月6日までに調査を完了、約41kmの一部劣化箇所については、速やかに対策を実施するよう求められている「緊急度1」の箇所が2km、5年以内の対策を実施する「緊急度2」の箇所が39kmであった。「緊急度1」と診断された箇所から順次機能回復させていく、水の流れる中での作業のため、安全対策を徹底して作業を進めると答えました。



京阪本線連続立体交差事業と光善寺駅前再開発事業



寝屋川市駅から枚方市駅までの京阪電車の高架化事業は、平成25年の国の認可以降、地元枚方市、寝屋川市の協力で用地取得を進め、いよいよ工事着手に入りました。また、光善寺駅前のまちづくりも同時並行で進められています。期待が高まる一方で、地元の皆さんからは、これから工事がどうなっていくのか、いつ完成して新しい街が誕生するのかという声をいただきました。大橋あきおは、工事の進捗状況とわかりやすい情報発信について質問しました。

大阪府は、香里園駅の仮駅、仮の線路の設置工事から仮駅、仮線への切り替えにより完成へのスケジュールが見えてくるとし、一日も早い完成を目指すとしてきました。また、光善寺駅前については、2年後に26階建てのマンションが完成、3年後には幅17メートルの道路と駅前ロータリーも完成する、必要な事業費の確保とともに法的手続きなどのノウハウや技術的なアドバイスなど地元を支援していくと答えました。



府全域の成長・発展へ府が市町村支援を!

性犯罪防止・子育て支援・教育の質向上で対策強化を

令和7年9月定例会で中野剛議員(政調会長・茨木市選出)が代表質問



▲代表質問する中野剛議員

結婚支援・働き方改革など少子化対策の抜本強化を 性犯罪・性暴力被害者支援ワンストップセンターの相談を強化

公明府議団は9月25日に代表質問を行い、万博閉会後の成長戦略や少子化対策、医療課題など府の諸課題について質疑。特に7月31日から9月5日まで実施した**府内37市町村との政策要望懇談会**でいただいた要望項目の実現を直接府に求めました。主な質疑内容は以下のとおりです。

- ▶結婚支援の更なる強化と若者の経済的不安の解消、子育て支援を促進すべき
- ▶市町村への支援が全国最低レベルの府の乳幼児医療費助成制度を拡充すべき
- ▶府立学校の給食費無償化の恒久実施。府立学校特別教室の空調を早期に全面設置すべき
- ▶性犯罪・性暴力被害者支援ワンストップセンターが10月20日、大阪府こころの健康総合センターに移設。通称を「ウイズユーおおさか」とし、24時間365日、被害者がいつでも相談できるホットラインを開設。

【お問い合わせ】ウイズユーおおさか

#8891(全国共通フリーダイヤル)または06-7494-3683



不登校の児童生徒をサポート 学びの多様化学校が来年4月開校

これまで公明府議団が訴えていた、不登校児童生徒へのサポート体制が大きく前進しました。

小中学生(政令市除く)を対象に、府内の不登校児童生徒の学びの機会の保障や居場所となることを目的に**大阪府不登校支援センター「まいど」**が令和7年度から大阪府教育センター内に設置されました。

高校生には、公立高校では全国2例目となる「**学びの多様化学校(不登校特例校)**」が大阪府教育センター附属高校の分校として来年4月に開校が決定しました。



▲不登校支援センター「まいど」を視察

【お問い合わせ】
まいど



学びの多様化学校
06-4397-3589

大学生等若者への食費支援事業

申請は12月16日まで、使用期限は翌年2月14日

国の交付金を活用した「子ども食費支援事業(お米クーポン)」の対象は18歳までですが、公明府議団は「**対象年齢を拡大**」を求め、今回、19歳から22歳が対象の「**大学生等若者への食費支援事業**」を実施します。

クーポンは7000円相当。対象は**2003年4月2日から2007年4月1日**生まれで、申請日に**大阪府にお住まいの方**、または**週末や年末年始・夏休み等の長期休暇も含め、一定期間(概ね年間1カ月半程度)**、府内の実家等で生活を送る方となります。



詳しくは、
コールセンター
(0120-265-095)
または府HPをご参照
ください。



討論より— 大阪の成長 安全・安心

- ▶**2025大阪・関西万博**が閉幕したが、万博の真の成否は今後の大阪の成長や世界への貢献等これからの取り組みが重要。府の新成長戦略である「**Beyond EXPO 2025**」に最先端技術の産業化・実装化への戦略を明記し、**SDGsの達成**にむけ万博開催都市として貢献すべき。
- ▶少子高齢社会が進む中、介護人材の確保・定着は喫緊の課題。我が会派が提案し、開設された、**介護生産性向上支援センター**を活用し、生産性向上や人材確保支援を強化すること。
- ▶今夏から整備士不足により運航停止が継続して発生している**ドクターヘリ**については、救急医療や今後の災害対応を考えれば命に関わる重大問題。一刻も早く安定運航の確保を。

討論動画

